

授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2022 年度

学校名	専門学校金沢美専
学科名	ビューティ総合学科

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験の有無	1年次		2年次		合計	
				前期	後期	前期	後期		
授業科目及び授業時間数表	専門科目	美容学Ⅰ	高崎 千愛	○		30		30	
		化粧品学	示野 雅枝	○	30	30		60	
		アロマ学	示野 雅枝	○	30	30		60	
		エステティック基礎	高崎 千愛	○	120			120	
		メイクアップ基礎	金作 純子	○	120			120	
		ネイル基礎	北野 美菜	○	120			120	
		サロンワーク実務Ⅰ	高崎 千愛	○		90		90	
		ビューティ応用実習Ⅰ フェイシャル実習 メイク実習Ⅰ ボディ実習 ネイル実習Ⅰ	示野 雅枝 金作 純子 高崎 千愛 北野 美菜	○		300		300	
	科目一般	サロンワーク接遇	杉原 美佐子		60			60	
		キャリア・デベロップメントⅠ	高崎 千愛		30	30		60	
	小 計（単位時間）				510	510		1020	
	専門科目	美容学Ⅱ	高崎 千愛	○				60	60
		ビューティ応用実習Ⅱ エステ美容学（エステ専攻） メイク実習Ⅱ（エステ専攻） I C A Mエステ実習（エステ専攻） エステ実習（エステ専攻） I C A Mメイク実習（メイク・ネイル専攻） メイク実習Ⅱ（メイク・ネイル専攻） ネイル実習Ⅱ（メイク・ネイル専攻）	川尻 諭生 浜中 佑子 高崎 千愛 高崎 千愛 金作 純子 浜中 佑子 北野 美菜	○			300	300	600
		サロンワーク実務Ⅱ	上濱 しおり	○			150	90	240
		サロンマネジメント	高崎 千愛	○			30		30
科目一般		キャリア・デベロップメントⅡ	高崎 千愛	○			30		30
		ホームルーム	高崎 千愛					30	30
小 計（単位時間）						510	480	990	
合 計（単位時間）				510	510	510	480	2010	
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）				420	480	510	450	1860	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容学Ⅱ		ビューティー総合学科/2年	2022/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	高崎 千愛
授業の概要				
エステティシャン、美容部員、ネイリストに必要な知識修得。 世界美容技術、衛生管理、ストレスの理解、栄養学、サロンマネジメントを学び、実際のサロンワークに活かせる知識となる。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークにおいて衛生管理が出来る。 ・ストレスとは何かを理解し、関連する病気やトラブルを知る。 ・美容に関連する美容学を理解し、食事指導のホームケアアドバイスが出来る。 ・契約に関する理解を深め正しい判断とご提案が出来る。 ・流行りの技術・成分を理解し見解を深めることが出来る。 ・独立開業に必要なことを知る。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、10年間サロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~2	エステティック概論①	美学を理解し世界のエステティックと関連分野を学修し、美容と健康のサービス提供領域を把握する		
3~4	衛生と消毒①②	衛生の方法と消毒の必要性について学び、物理的消毒方法や科学的消毒法を理解し適切な消毒が判断出来るようになる		
5~6	衛生と消毒③④	病原菌が感染する際の条件を学び対策を知る。病原微生物の特徴を学び感染症の予防方法を理解する。		
7~8	サロンでの衛生管理	新型コロナウイルス対策法を把握し、実際のサロンワークでの活かし方を業界基準に従い実践出来る		
9~10	心と脳と身体の間わり	ストレスの理解、ストレス性疾患を理解し美容カウンセリングを学修する		
11~12	最新美容について	化粧品業界、ネイル業界、エステ業界の最新美容を学修する		
13~14	栄養学の基礎	栄養素の種類・働き・栄養価を把握し、美容と健康に生かすことが出来る		
15~16	栄養学を食生活に活かす	栄養のバランスを考えバランスの良い食事を組み立てられる。栄養価を学び食生活に活かせるようになる。		
17~18	栄養学（健康を守る）①②	各栄養素の特徴を学び身体構成、生命の維持に必要な栄養素を理解する。		
19~20	栄養学（健康を守る）③④	健康維持の為に必要な栄養を学ぶ。サプリメントの活用法を学び体質・肌によって必須栄養素をご提案出来る。現代の食生活と食の安全を考える。		
21~22	関連法規①②	職域・カウンセリング・販売に関連する法規を学ぶ。		
23~24	関連法規③	契約に関する法規を学び、正しい契約方法を理解する		

25～ 26	化粧品学	流行りの成分、NG表記、最新情報の共有で知識のアップデートを行う		
27～ 28	サロンマネジメント	企業売上の分配、経営ノウハウ、開業するにあたって必要なことを学修する		
29～ 30	サロンでの救急法	美容機器の危険予測と対策を学ぶ。サロンで急病患者に対する知識を修得しその他危機管理方法を学ぶ。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
一般社団法人ICAM推進機構 「ベーシックエステティック学」		期末試験	100.0%	各講義でのノートと小テストでの復習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (エステ美容学)		ビューティー総合学科/2年 エステ専攻	2022/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	川尻 諭生
授業の概要				
エステティシャンとしての脱毛理論を修得する サロン実務において脱毛カウンセリングやメニューのご提案時に必要な知識となる				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・光脱毛理論を理解し、正しい技術提供が出来る ・一般財団法人日本エステティック工業会認定「美容ライト脱毛安全講習会」合格を目指す ・脱毛カウンセリングが出来るようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、24年間サロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~2	エステティック概論	世界のエステ・エステティックの意義と心得・ソワンエステティック・ウエルネスについての復習と理解の深堀		
3~4	フェイシャル実技理論	各化粧品選定・フェイシャル機器・お手入れ効果・禁忌・カウンセリングについての復習と理解の深堀		
5~6	ボディ実技理論・ワックス脱毛実技理論	目的・手技・禁忌・ボディ機器・ホームケア・トラブルについての復習と理解の深堀		
7~8	美容ライト美容脱毛機器脱毛原理	光の理解（自然光・電磁波・波長とスペクトル・紫外線・レーザー・フラッシュライト）		
9~10	美容ライト美容脱毛機器脱毛原理	レーザーライトのメカニズムの理解（光と生体・レーザー脱毛・ライト脱毛）		
11~12	美容ライト美容脱毛機器脱毛原理	出力と作用の理解（光の単位と測定・パルスとエネルギー・安全基準と管理・劣化と耐久性）		
13~14	美容ライト脱毛実技理論	トリートメントヘッドの種類理解（種類・扱いの注意） （ジェル使用タイプ・ジェル使用しないタイプ）		
15~16	美容ライト脱毛実技理論	皮膚との毛の観察および禁忌事項の理解（皮膚の色調・太さと色素量・トリートメントの禁忌事項）		
17~18	美容ライト脱毛実技理論	ライト脱毛の手順の理解（ホームケア含む） 基本照射テクニックの理解		
19~20	美容ライト脱毛について	発毛の仕組みと毛周期の理解・美容レーザーライト脱毛の原理		
21~22	有効性と安全性の両立	テスト照射・適正出力・皮膚冷却と鎮静の理解		
23~24	予測される副反応 安全性	トリートメント後の副反応の理解 定期点検・使用環境と安全確保・衛生管理の理解		
25~26	脱毛カウンセリング	契約内容・予測される仕上がり・トリートメント後の状態・注意事項・トラブル対応の理解		
27~28	脱毛カウンセリング実践	相モデルにて、脱毛ビフォーカウンセリング・アフターカウンセリングを実践し理解を深める		

29～ 30	脱毛理論まとめ	各回の重要点を捉えながら振り返りと確認を行い、実技と連動した知識修得に繋げる		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
エステティシヤンのための美容ライト脱毛 実技理論テキスト エステティシヤンセンター試験筆記試験例 題集		期末試験 提出物	80.0% 20.0%	講義ノートを使用 し復習する 例題集を繰り返し 行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (エステ美容学)		ビューティー総合学科/2年 エステ専攻	2022/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	川尻 諭生
授業の概要				
サロン実務においてカウンセリングやメニューのご提案時に必要な知識となる また、正しい知識があることで施術トラブル防止、契約トラブル防止に繋がる 知識修得の証として、一般財団法人日本エステティック試験センター「エステティシャンセンター試験」、ICAMJAPAN「アドバンスレベル2ビューティシャン」合格を目指す				
授業終了時の到達目標				
・エステティック技術（ボディ・フェイシャル・機器）、契約法、衛生法、関連法規を理解し、 正しいサロンワークが実践できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、24年間サロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~2	エステティック関連法規①	施術・商品販売・カウンセリングに関する関連法規を理解する		
3~4	エステティック関連法規②	運営・契約に関する関連法規を理解する		
5~6	皮膚科学	肌トラブルを説明できる皮膚科学を学修する		
7~8	解剖生理学①	骨・筋肉・消化器・循環器について1年次美容学の応用と理解を深める		
9~10	解剖生理学②	呼吸器・内分泌・感覚器・神経について1年次美容学の応用と理解を深める		
11~12	心身生理学とホメオスタシス	生命活動におけるホメオスタシスに関わる神経系・免疫系・内分泌系について学修する		
13~14	運動生理学	サロン実務で生活習慣やダイエットのホームケアアドバイスに役立てる知識修得となる		
15~16	栄養学	サロン実務で生活習慣やダイエットの栄養アドバイスに役立てる知識修得となる		
17~18	電気学・機器学	エステティック機器の目的と禁忌を修得し肌別フェイシャルの機器選定が正しく行える		
19~20	衛生管理	サロンで行う衛生管理について理解を深める		
21~22	サロンでの救急法	サロンで急病患者に対する知識を修得する		
23~24	エステティックカウンセリング	カウンセリングの基礎を理解しお客様の悩みや相談に応じられるようになる		
25~26	サロンマネジメント	ESとCSについて理解しクレーム対応・接客マナー・経営方針についてを学修する		
27~28	業界統一自主基準	遵守項目について理解する		

29～ 30	実技理論の復習	フェイシャル・ボディ・ワックス脱毛の実技理論における 重点項目について理解する		
	教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
	・エステーションセンター試験筆記試験 例題集 ・一般社団法人ICAM推進機構「ベーシック エステティック学」	期末試験 エステーション試験センター ICAM検定合格	50.0% 25.0% 25.0%	エステーション センター試験筆記 対策例題集を繰り 返し行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (メイク実習Ⅱ)		ビューティー総合学科/2年 エステ専攻	2022/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	浜中 佑子
授業の概要				
肌質、骨格、顔パーツ、全体バランスを踏まえ、TPO・テーマに合わせたメイク表現を学修し、エステティックにおいて様々なお客様のメイク要望にお応えできる技術、接客の修得を目指す。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・スキントイプ別の状態把握と改善法の提案、対応が出来る。 ・1年次のメイク基礎をベースに、イメージメイクアップ、TPOに合わせたメイクアップが出来る。 ・アヴァンセライセンス（テーマ4パターン）、ICAMトータルビューティシャン部門（4パターンドレス）に合わせたメイクアップが出来る。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		メイクアップアーティストとして5年間メイクの実務に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~2	パーソナルスキンケア	肌質による水分と皮脂のバランスを把握し、メイクアップ前の肌のコンディションを整えるためのテクニックを修得する		
3~4	修整メイク（目元、眉、口元）	パーツごとの修整方法の修得と実践。		
5~6	メイクアップの質感	質感の主な種類と特徴を理解し、質感による仕上がりのイメージの違いについての説明とメイクが出来るよう学修する		
7~8	メイクアップとライティング	光源の分類と特徴を知り、照明の違いと光の特徴を生かしたメイクアップポイントを修得する。		
9~10	メイクアップ色彩学①	パーソナルカラーを知る。シーズンカラーの分類を行い、特徴、似合うカラー、イメージワードを理解する。		
11~12	メイクアップ色彩学②	シーズン別にイメージワード、似合うカラーを理解し、カラーメイクをする際に役立つ知識の習得する。		
13~14	TPOに合わせたメイクアップ①	オフィス、パーティー、着物、ウェディングドレスの画像より、メイクアップカルテを作成する。		
15~16	TPOに合わせたメイクアップ②、③	②オフィスメイクの特徴を修得し理解する。③パーティーメイクの特徴を修得し理解する。		
17~18	TPOに合わせたメイクアップ④、⑤	④和装メイクの特徴を修得し理解する。⑤ウェディングドレスメイクの特徴を修得し理解する。		
19~20	TPOに合わせたメイクアップ⑥	⑥TPOに合わせたメイクアップ②~④の総復習と苦手パーツの反復練習。		
21~22	TPOに合わせたメイクアップ	パーティードレス（テーマ①）に合わせる時のメイクアップのポイント、注意点を理解し相モデルにてメイクアップの実践		
23~24	TPOに合わせたメイクアップ	パーティードレス（テーマ②）に合わせる時のメイクアップのポイント、注意点を理解し相モデルにてメイクアップの実践		
25~26	TPOに合わせたメイクアップ	パーティードレス（テーマ③）に合わせる時のメイクアップのポイント、注意点を理解し相モデルにてメイクアップの実践		
27~28	TPOに合わせたメイクアップ	パーティードレス（テーマ④）に合わせる時のメイクアップのポイント、注意点を理解し相モデルにてメイクアップの実践		

29～ 30	TP0に合わせたメイクアップ	TP0に合わせたメイクアップ(テーマ⑤)総復習と苦手パーツの反復練習。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
ディプロム・マキアージュ・クレアティブ・アンテルナショナル アヴァンセレベル (Why Not international creations)		学期末試験 提出物	50.0% 50.0%	アヴァンセテキストの予習復習。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (ICAMエステ実習)		ビューティー総合学科/2年 エステ専攻	2022/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	選択	高崎 千愛
授業の概要				
エステティシャンとして働くために必要となる、お客様の身体・肌に合わせた施術・粧剤選択が出来、的確なアドバイスが出来る知識を修得し、ICAM国際ライセンスアドバンスレベル2取得を目指す。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ フランス式フェイシャルの修得 ・ 肌別フェイシャル工程の組み立てと技術提供 ・ 身体状態に合わせたボディ施術の組み立てと技術提供 ・ 各施術の禁忌が理解できる ・ 施術カルテが正しく記入出来、ホームケアアドバイスが出来る 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
施術手順は復習し覚えてくること。予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
	テーマ	学修内容		
1~4	ICAM国際ライセンスについて フランス式フェイシャル	ライセンス目的・全体の流れを理解し、今後の技術計画を立てる/フランス式フェイシャルの手順・目的を理解する		
5~8	4肌別フランス式フェイシャル①	4肌別フランス式フェイシャルの手順・目的を理解し正しく行うことが出来るようになる		
9~ 12	4肌別フランス式フェイシャル②	4肌別フランス式フェイシャルの手順・目的を理解し正しく行うことが出来るようになる		
13~ 16	4肌別フェイシャルカルテの作成	4肌別にフェイシャル工程の目的を理解し、使用化粧品の特徴成分を理解し把握する		
17~ 20	ボディ施術強化①	背面ボディの施術の理解を深める		
21~ 24	ノーマル肌用フェイシャル施術	ノーマル肌用フェイシャル工程の理解が出来る		
25~ 28	ボディ施術強化②	身体構造を理解した施術が出来る		
29~ 32	ドライ肌用フェイシャル施術	ドライ肌用フェイシャル工程の理解が出来る		
33~ 36	ボディ施術強化③	下肢にむくみ状態を理解した施術が出来る		
37~ 40	オイリー肌用フェイシャル施術と	オイリー肌用フェイシャル工程の理解が出来る		
41~ 44	ボディ施術強化④	肩こり状態を理解した施術が出来る		
45~ 48	コンビネーション肌用フェイシャル	コンビネーション肌用フェイシャル工程の理解が出来る		
49~ 52	ボディ施術強化⑤	腰痛状態を理解した施術が出来る		
53~ 56	ノーマル肌用フェイシャル施術と	ノーマル肌の特徴を捉え施術でアプローチ出来る		

57～ 60	ボディ施術強化⑥	冷え性状態を理解した施術が出来る		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
ICAMボディ技術課題①～③ ICAMフェイシャル技術課題①～④		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (ICAMエステ実習)		ビューティー総合学科 2年/エステ専攻	2022/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	120回	240単位時間	選択	高崎 千愛
授業の概要				
エステティシャンとして働くために必要となる、お客様の身体・肌に合わせた施術・粧剤選択が出来、的確なアドバイスが出来る知識を修得し、ICAM国際ライセンスアドバンスレベル2取得を目指す。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・各技術の目的をお客様に説明出来る ・ホームケアアドバイスが出来る ・お客様の身体・肌の状態に合わせた施術組み立て、ご提案、粧剤選択が出来る ・一人のエステティシャンでフェイシャル・ボディ・メイク・ネイルの組み立てと施術が出来る 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。			
時間外に必要な学修				
施術手順は復習し覚えてくること				
回	テーマ	学修内容		
1~4	カルテ	化粧品成分理解し、肌別にトリートメント目的・ホームケアアドバイスを理解できる		
5~8	ドライ肌用フェイシャル施術	ドライ肌の特徴を捉え施術でアプローチ出来る		
9~12	ボディ施術強化⑦	筋肉がついてない状態を理解した施術が出来る		
13~16	オイリー肌用フェイシャル施術	オイリー肌の特徴を捉え施術でアプローチ出来る		
17~20	ボディ施術強化⑧	セルライトがついた状態を理解した施術が出来る		
21~24	コンビネーション肌用フェイシャル施術	コンビネーション肌の特徴を捉え施術でアプローチ出来る		
25~28	ボディ施術強化⑧	リンパの流れを理解した施術が出来る		
29~32	課題①フェイシャル	課題①に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来る。		
33~36	課題①ボディ・カルテ	課題①に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来る。短い時間でカルテを記入できるようになる		
37~40	課題②フェイシャル	課題②に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来る。		
41~44	課題②ボディ・カルテ	課題②に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来る。短い時間でカルテを記入できるようになる		

45～ 48	課題③フェイシャル	課題③に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来る。
49～ 52	課題③ボディ・カルテ	課題③に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来る。短い時間でカルテを記入できるようになる
53～ 56	課題④フェイシャル	課題④に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来る。
57～ 60	ボディ・フェイシャル・メイク・ネイル①	ボディ・フェイシャルは苦手な課題を選び、メイクはパーティー用・ネイルは赤ポリッシュを使用し一連の流れを行うことが出来る
61～ 64	ボディ・フェイシャル・メイク・ネイル②	ボディ・フェイシャルは苦手な課題を選び、メイクはパーティー用・ネイルは赤ポリッシュを使用し一連の流れを行うことが出来る
65～ 68	課題①ボディ・フェイシャルLv. 1	課題①に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
69～ 72	課題②ボディ・フェイシャルLv. 1	課題②に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
73～ 76	課題③ボディ・フェイシャルLv. 1	課題③に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
77～ 80	課題④ボディ・フェイシャルLv. 1	課題④に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
81～ 84	課題①ボディ・フェイシャル・アート課題Lv. 2	前回の指摘事項を意識しレベルアップが出来るようになる アート課題①をメイク表現出来るようになる 課題①目的を施術中に説明出来るようになる
85～ 88	課題②ボディ・フェイシャル・アート課題Lv. 2	前回の指摘事項を意識しレベルアップが出来るようになる アート課題②をメイク表現出来るようになる 課題②目的を施術中に説明出来るようになる
89～ 92	課題③ボディ・フェイシャル・アート課題Lv. 2	前回の指摘事項を意識しレベルアップが出来るようになる アート課題③をメイク表現出来るようになる 課題③目的を施術中に説明出来るようになる
93～ 96	課題④ボディ・フェイシャル・アート課題Lv. 2	前回の指摘事項を意識しレベルアップが出来るようになる アート課題④をメイク表現出来るようになる 課題④目的を施術中に説明出来るようになる
97～ 100	課題①ボディ・フェイシャル・アート課題Lv. 3	課題①に対して接客と同様な施術が出来、配慮のあるお声かけと目的の説明が出来るようになる 又、目的を理解し施術カルテの記入が出来る
101～ 104	課題②ボディ・フェイシャル・アート課題Lv. 3	課題②に対して接客と同様な施術が出来、配慮のあるお声かけと目的の説明が出来るようになる 又、目的を理解し施術カルテの記入が出来る
105～ 108	課題③ボディ・フェイシャル・アート課題Lv. 3	課題③に対して接客と同様な施術が出来、配慮のあるお声かけと目的の説明が出来るようになる 又、目的を理解し施術カルテの記入が出来る
109～ 112	課題④ボディ・フェイシャル・アート課題Lv. 3	課題④に対して接客と同様な施術が出来、配慮のあるお声かけと目的の説明が出来るようになる 又、目的を理解し施術カルテの記入が出来る
113～ 116	模擬試験	時間・施術の正確さ・接客・カウンセリング・化粧品選定・施術組み立てを理解し美容マネジメントが出来る

117 ～ 120	模擬試験	時間・施術の正確さ・接客・カウンセリング・化粧品選 定・施術組み立てを理解し美容マネジメントが出来る		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
ICAMボディ技術課題①～④ ICAMフェイシャル技術課題①～④ ICAMアート課題①～④		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (エステ実習)		ビューティー総合学科 2年/エステ専攻	2022/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	高崎 千愛
授業の概要				
エステティック技術である「痩身」施術で結果に導くことを学修する。そのために、生理解剖学・痩身理論・栄養指導・メンタルケア指導・顧客管理を行い長期の継続的効果を見出すための技術を学修する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングでモデルが太る原因の検証を行える ・太る原因に対しての施術・ホームケアアドバイス・メンタルケアが出来る ・痩せるメカニズムを理解出来る 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
授業内容で得たことを基にモデルの食事アドバイス・メンタルケアの管理				
回	テーマ	学修内容		
1～2	太る・痩せるの身体のメカニズム	太る原因を学修し、痩せるための手立てと方法を太り方別に理解する		
3～4	痩身機器の理解と習得	各種痩身機器の特性を理解し、太り方別に機器を選定出来るようになる		
5～6	食事指導と採寸	栄養学を基に、痩せるための食事指導を実践しアドバイス出来るように学修する、又正確な採寸法を理解する		
7～8	カルテ記入と運動指導	カルテ記入の方法と目的を理解し実践を通し習得する、又体質別の適切な運動法を理解しアドバイスが出来る		
9～10	カウンセリングの実践とプランニング	相モデルにて太る原因検証と痩せるプランニングを行い知識と施術の組み立てが出来る		
11～12	痩身施術①	目的に応じた施術プランニングを行い正しい施術を行う		
13～14	ワックス脱毛①	実習を通してハードワックスの技術習得を行い、特性とリスクを理解する		
15～16	痩身施術②	変化を見極め本日の施術プランニングと実践を行い目標に近づけるためのカウンセリングと施術を行う		
17～18	痩身施術③	変化を見極め本日の施術プランニングと実践を行い目標に近づけるためのカウンセリングと施術を行う		
19～20	光脱毛を実施するにあたって	機器使用法・禁忌・脱毛カウンセリング・毛髪判断基準を理解し、実習で技術を学ぶ		
21～22	痩身施術④	変化を見極め本日の施術プランニングと実践を行い目標に近づけるためのカウンセリングと施術を行う		
23～24	痩身施術⑤	変化を見極め本日の施術プランニングと実践を行い目標に近づけるためのカウンセリングと施術を行う		
25～26	脱毛後の発毛確認 フォトフェイシャル	上記3種脱毛後の、肌・発毛の状態を検証し、用途の目的を理解する		
27～28	痩身施術⑥	変化を見極め本日の施術プランニングと実践を行い目標に近づけるためのカウンセリングと施術を行う		

29～ 30	痩身効果の発表と検証	7回の実践効果のプレゼンテーションを通し、効果と施術法の知識を学習する		
	教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他
	ベーシックエステティック学テキスト 低周波機器 痩身商材（アロマ・クリーム・ジェル等）	発表内容・点数 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (ICAMメイク実習)		ビューティ総合学科/2年 メイク・ネイル専攻	2022/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	金作 純子
授業の概要				
<p>・コスメティシャン、メイクアップアーティストとして求められるサービス（奉仕・貢献・世話）や、ホスピタリティ（思いやり・やさしさ・歓待）、マナーに関する基本を理解する。</p> <p>・販売・接客スキルの基本的な流れを学び、基礎的理論の理解、フェイシャルやメイクの技術を取得した総合力を養う。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>・相手に合わせたスキントypes別の状態把握、イメージメイクアップ、メイクアップカルテの作成が出来る。</p> <p>・店頭、あるいはブランドの顔、アーティストとして店頭や現場に立つことを踏まえ、プロとしての意識を持つことや接客に取り組む姿勢の自覚を持つことが出来る。</p> <p>・ICAMコスメティック部門 コスメティシャンライセンスの取得が出来る。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		メイクアップアーティストとして8年間メイクの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~2	・ICAMコスメティシャンライセンスとは… ・メイクアップの基礎理論① ・サービスマナーとホスピタリティマインド	スキンケアカウンセリングの際に求められるサービスやホスピタリティ、マナーに関する基本を理解する。		
3~4	第一印象による満足と信頼	カウンセリングの目的と方法、スキンチェックの方法と考え方を理解する。		
5~6	スキンケアカウンセリング①	美しい肌を作る因子、スキントypesの特徴、スキントypes別状態把握、カウンセリングの方法を理解する。		
7~8	スキンケアカウンセリング②	皮膚と化粧品、化粧品取扱いの注意について理解する。		
9~10	スキンケアカウンセリング③	栄養素と皮膚の関係 肌の改善と食生活、サプリメントの活用について理解する。		
11~12	メイクアップ基礎理論②	顔の理想的なバランス、パーツバランスと印象、輪郭と印象を理解し、ナチュラルメイクの実践。		
13~14	メイクアップに必要な色彩基礎理論	イメージタイプ別カラーコーディネートを学修する。		
15~16	ベーシックメイクアップ実践①	イメージメイクアップ(可愛い・キュート)のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテ作成の実践。		
17~18	ベーシックメイクアップ実践②	イメージメイクアップ(活動的・フレッシュ)のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテの作成の実践。		
19~20	ベーシックメイクアップ実践③	イメージメイクアップ(優雅・セクシー)のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテの作成の実践。		
21~22	ベーシックメイクアップ実践④	イメージメイクアップ(知的・クール)のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテの作成の実践。		
23~24	パーソナルカラーの基礎知識	シーズンカラー別パーソナルタイプによるメイクアップポイントを理解する。		
25~26	カウンセリングセールステクニック	スキンチェックの復習。スキンケアカウンセリングの基本、接客の流れを理解する。		
27~28	・カウンセリングメイクアップ ・クレンジング法	質感、ライティング、デザイン、パリエーションテクニックを理解する。コスメカウンターでのクレンジング方法を学び、実践。		

29~ 30	メイクアップ実践①	乾燥肌のスキンケア方法を取り入れ、キュートなイメージに近づけたメイクアップ、カルテ制作を实践。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICAM国際ライセンス コスメティシャンテキスト (カウンセリングセールス編) 【一般財団法人 ICAM日本支部】 ・ ICAM国際ライセンス コスメティックテキスト (メイクアップカウンセリング編) 【一般財団法人 ICAM日本支部】 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 ・ 提出物 	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。各日、メイク練習ごとに言われたアドバイスをノートに記録する。・メイクカルテ、スキンケアカウンセリングシートを各10症例を完成させる。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (ICAMメイク実習)		ビューティ総合学科/2年 メイク・ネイル専攻	2022/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120 単位時間	必須	金作 純子
授業の概要				
<p>・コスメティシャン、メイクアップアーティストとして求められるサービス（奉仕・貢献・世話）や、ホスピタリティ（思いやり・やさしさ・歓待）、マナーに関する基本を理解する。</p> <p>・販売・接客スキルの基本的な流れを学び、基礎的理論の理解、フェイシャルやメイクの技術を取得した総合力を養う。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>・相手に合わせたスキントイプ別の状態把握、イメージメイクアップ、メイクアップカルテの作成が出来る。</p> <p>・店頭、あるいはブランドの顔、アーティストとして店頭や現場に立つことを踏まえ、プロとしての意識を持つことや接客に取り組む姿勢の自覚を持つことが出来る。</p> <p>・ICAMコスメティック部門 コスメティシャンライセンスの取得が出来る。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		メイクアップアーティストとして8年間メイクの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~4	メイクアップ実践②	普通肌のスキンケア方法を取り入れ、フレッシュなイメージに近づけたメイクアップ、カルテ制作を実践。		
5~8	メイクアップ実践③	混合肌のスキンケア方法を取り入れ、セクシーなイメージに近づけたメイクアップ、カルテ制作を実践。		
9~12	美容皮膚学	皮膚構造、化粧品の特性と分類を理解する。スキンケアアイテムの成分を調べ成分表の作成。		
13~16	メイクアップ実践④	脂性肌のスキンケア方法を取り入れ、クールなイメージに近づけたメイクアップ、カルテ制作を実践。		
17~20	ICAM実技見込判定試験	肌質やどのようなイメージのメイクが気になっているかをカウンセリングで捉え、クレンジング、スキンケア、メイクアップ、カルテ作成を規定の時間内で完成させる。		
21~24	ICAM実技見込判定試験 復習と確認	見込み判定試験の結果より、それぞれの不得意分野の練習を行いブラッシュアップさせる。		
25~28	メイクアップ実践⑤	それぞれの肌質に合わせたスキンケアアイテム（化粧水、美容液、乳液）の選定理由、使用アドバイス、テクニックを相手に伝えるためのトークポイントを学修する。		
29~32	販売アプローチとセールストーク①	化粧品販売のアプローチ方法、セールストーク、ロールプレイングを取り入れた実践。		
33~36	販売アプローチとセールストーク②	効果的なデモンストレーション、トラブル別商品の提案を取り入れた実践。		
37~40	メイクアップ実践⑥	相モデルのメイクアップの悩みや要望を聞き出し、アドバイスを入れながらワンポイントテクニックを取り入れたメイクアップの実践。		
41~44	メイクアップ実践⑦	それぞれのシーン（カウンセリング、クレンジング、メイクアップ、カルテ作成）毎に気をつける会話、言葉の選び方、表情を意識し、通して実践。		
45~48	メイクアップ実践⑧	肌質の特徴、イメージメイクアップのポイントの総復習を行い、時間配分の調整を意識したメイクアップ実践。		
49~52	ICAM実技試験対策①	試験リハーサル。肌質分析、モデルの顔分析、印象分析を行い、クレンジング、スキンケア、フルメイク、カルテ作成の実践。		
53~56	ICAM実技試験対策②	前回リハーサルにおいて不足だった箇所、改善する必要がある箇所のアドバイスを行い、更に技術を高める。		

57～ 60	ICAM実技試験対策③	試験リハーサルを行いトークや技術の最終確認。80分内にカウンセリング、クレンジング、スキンケア、フルメイク、カルテ作成の実践。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICAMカウンセリングセールステキスト ・ ICAMメイクアップカウンセリングテキスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験 ・ 提出物 	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。各日、メイク練習に言われたアドバイスをノートに記録する。・メイクカルテ、スキンケアカウンセリングシートを各10症例を完成させる。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (メイク実習Ⅱ)		ビューティ総合学科2年 (メイク・ネイル専攻)	2022/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	浜中 佑子
授業の概要				
美容部員、メイクアップアーティストとして求められるホスピタリティやサービス、マナーを理解する。目的やテーマに合ったメイクアップを提案できる知識とメイクアップテクニックを修得する。				
授業終了時の到達目標				
似合わせメイク、TPOに合わせたメイクを提案する際の使用するメイクアイテムと使用方法の知識を修得する。アヴァンセのライセンスの習得ができる。作品作りに求められる、テーマからの想像力、発想力、感性を養う。作品作りを通して1つの作品が完成するまでの流れを知り、作品作りの奥深さを感じることが出来る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		メイクアップアーティストとして5年間メイクの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~4	メイクフォトコンテスト①ver. 1 パーソナルスキンケア	テーマに基づきメイク設計とメイクアップ実践を行い表現力を養う。スキントイプ別の見分け方を学修し実践する。		
5~8	メイクフォトコンテスト②ver. 1 修整メイク	改善箇所の修正。顔のバランス修正が出来る知識技術をパーツごとに学修する。		
9~12	メイクフォトコンテスト③ver. 1	衣装や小物類などの最終チェックとクオリティアップのためのメイクアップ修得。		
13~16	フォトコンテストSHOOTING 「テーマ①」	撮影実習。作品撮りの流れを理解し、見せ方、作品の良い部分、足りない部分を理解する。		
17~20	パーソナルカラーとは	パーソナルカラーを知る。シーズンカラーの分類を行い、特徴、似合うカラー、イメージワードを理解する。		
21~24	メイクフォトコンテスト④ver. 2	テーマを捉えたメイク設計の考案とモデルの顔に合わせた実践でメイク提案・技術力を修得する		
25~28	メイクフォトコンテスト⑤ver. 2	前回のメイク作品の改善点の修正(色バランス・表現力・質感・細部正確さ)		
29~32	メイクフォトコンテスト⑥ver. 2	前回のメイク作品の改善点の修正(色バランス・表現力・質感・細部正確さ)		
33~36	メイクフォトコンテスト⑦ver. 2	前回のメイク作品の改善点の修正(色バランス・表現力・質感・細部正確さ)		
37~40	メイクフォトコンテスト⑧ver. 2	前回のメイク作品の改善点の修正(色バランス・表現力・質感・細部正確さ・衣装、小物類の最終チェックと仕上げ)		
41~44	フォトコンテストSHOOTING 「テーマ②」	撮影実習。作品撮りの流れを理解し、見せ方、作品の良い部分、足りない部分を理解する。		
45~48	メイクフォトコンテスト⑨ver. 3	テーマに基づきメイク設計とメイクアップ実践を行い表現力を養う。		
49~52	メイクフォトコンテスト⑩ver. 3	改善箇所の修正。顔のバランス修正が出来る知識技術をパーツごとに学修する。		
53~56	メイクフォトコンテスト⑪ver. 3	衣装や小物類などの最終チェックとクオリティアップのためのメイクアップ修得。		

57～ 60	フォトコンテストSHOOTING 「テーマ③」	撮影実習。作品撮りの流れを理解し、見せ方、作品の良い部分、足りない部分を理解する。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
ディプロム・マキアージュ・クリエイティブ・アンテルナショナル アヴァンセレベル (Why Not international creations)		学期末試験 提出物 作品の創意工夫	40.0% 30.0% 30.0%	フォトコンのテーマに合わせてフェイスチャートの作成。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (メイク実習Ⅱ)		ビューティ総合学科2年 (メイク・ネイル専攻)	2022/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	浜中 佑子
授業の概要				
美容部員、メイクアップアーティストとして求められるホスピタリティやサービス、マナーを理解する。目的やテーマに合ったメイクアップを提案できる知識とメイクアップテクニックを修得する。				
授業終了時の到達目標				
似合わせメイク、TPOに合わせたメイクを提案する際の使用するメイクアイテムと使用方法の知識を修得する。アヴァンセのライセンスの習得ができる。作品作りに求められる、テーマからの想像力、発想力、感性を養う。作品作りを通して1つの作品が完成するまでの流れを知り、作品作りの奥深さを感じることが出来る。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	メイクアップアーティストとして5年間メイクの実務に従事する			
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1～2	テーマ別メイクアップ 「憧れの女性像」	「憧れの女性像」の人物像をイメージし、イメージしたものを色や、ラインの太さ、形などで表現する事を学修する。		
3～4	テーマ別メイクアップ 「コスメブランドの広告ビジュアル」	コスメブランドの広告ビジュアルを理解し、各ブランドイメージに表現する。		
5～6	テーマ別メイクアップ「雑誌の表紙」	雑誌の表紙が発信するものとは何か（雑誌のジャンル、対象読者、ターゲット年齢層など）に合わせたメイクを実践		
7～8	テーマ別メイクアップ 「No○○, No life」	自分の人生の中で欠かすことのできないものは何かを考え、どのようにメイクアップで表現するかを想像し表現する		
9～10	メイクアップフォト①	テーマに沿って、メイクアップ設計をしイメージをフェイスチャートに表現する。		
11～12	メイクアップフォト②	相モデルにて実践し、よりイメージに近づけるため修正を加え工夫を凝らす。		
13～14	メイクアップフォト③	前回は修正を加え、衣装、小物類のスタイリングと最終チェックを行いフォトメイクの完成度を高める。		
15～16	メイクアップフォトSHOOTING	撮影実習。レンズの角度、表情の変化、色の調整、配置、光の角全体を捉えたフォトシューティングを学修する。		
17～18	テーマ別メイクアップ 「目元をフォーカスしたメイク」	目元に焦点をおいたメイクの実践。質感、色、デザインに拘り、それぞれのパーツとのバランスの取り方を学修する		
19～20	テーマ別メイクアップ 「質感別メイクアップ①」	質感の主な種類と特徴を理解し、質感による仕上がりのイメージの違いについての理解とメイク表現が出来るよう学修する		
21～22	テーマ別メイクアップ 「質感別メイクアップ②」	質感の主な種類と特徴を理解し、質感による仕上がりのイメージの違いについての理解とメイク表現が出来るよう学修する		
23～24	テーマ別メイクアップ 「口元をフォーカスしたメイク」	口元に焦点をおいたメイクの実践。質感、色、デザインに拘り、それぞれのパーツとのバランスの取り方を学修する		
25～26	卒業作品作り①	テーマに合わせてイメージメイクを膨らませフェイスチャートの作成とメイク練習。		
27～28	卒業作品作り②	改善すべき点の重点練習と、衣装、小物など全体のバランス確認。		

29~ 30	卒業作品撮り③	卒業集大成としてテーマに合わせて制作したメイクの世界観をメイクフォト作品として残す。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
ディプロム・マキアージュ・クリエイティブ・アンテルナショナル アヴァンセレヴェル (Why Not international creations)		期末試験 提出物 作品の創意工夫	40.0% 30.0% 30.0%	アヴァンセテキストの復習。フォトコンのテーマに合わせてフェイスチャートの作成。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (ネイル実習Ⅱ)		ビューティ総合学科/2年 メイク・ネイル専攻	2022/前期	講義・実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	選択	北野 美菜
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル初級レベルの技術習得 ・サロンワークネイルでの実施を通し、お客様のご要望にお応えできる知識・技術習得を目指す 				
授業終了時到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングでお客様のご要望に沿えるご提案が出来る ・ジェルネイルワンカラー・シンプルデザイン・ニュアンスデザインが出来る ・ネイル商材の理解 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ネイリストとして4年間ネイルサロンの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~4	ジェルネイル1年次復習・現在のレベル確認	サロンワークジェルネイル技術の技術確認。技術不足部分の洗い出しと計画立て		
5~8	フットネイル基礎理論・技術 (1年次の復習も含む)	足のトラブルについて、爪や皮膚の病気についての修得・フットジェルの注意事項と巻き爪のメカニズム・対処法を実践を交えて理解する		
9~12	ジェルネイルオフのやり方と種類の違い	マシーン理論・オフ時間の管理・爪のバリア機能の仕組みを理解する・アセトンオフ・フィルインの目的別技術修得		
13~16	ネイル基礎理論	化粧品学の知識・色彩理論・ジェルネイル材料や特性を理解し修得する		
17~20	衛生管理と消毒法	衛生管理と消毒法の理解と実務での方法の修得		
21~24	アートの提案法・バランスの法則	色の相性を理解しアートの提案・バランスの良い配置などのアートバランスの基礎を理解する		
25~28	サロンワークジェルネイル①□	土台となるベースジェルの重要性・定着不足を起こさないためのプレパレ~仕上げまでをトータルに理解する		
29~32	サロンワークジェルネイル②	カウンセリング~デザイン決めまでの接客に重点を置いてサロンワークの流れで技術提供を実践する(デザイン①)		
33~40	サロンワークジェルネイル③④	グラデーションネイルの技術修得 様々なグラデーションネイルの技術修得		
41~48	サロンワークジェルネイル⑤⑥	フレンチネイルの技術修得 様々なフレンチネイルの技術修得		
49~52	サロンワークジェルネイル⑦	カウンセリング~デザイン決めまでの接客に重点を置いてサロンワークの流れで技術提供を実践する(デザイン②)		
53~56	サロンワークジェルネイル⑧	サロンワークでの起こりうる技術トラブルの対応技術の修得		
57~60	前期のおさらいと後期学習に向けての取り組みについて	これまでの総合的な復習と後期に向けて取り組む技法を把握し自分の強化点の総合理解		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
NPO法人日本ネイリスト協会(JNA)発行 テクニカルシステム		期末テスト 小テスト ノート提出	70.0% 20.0% 10.0%	各講義で実施した内容を教材などを使用して練習・復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅱ (ネイル実習Ⅱ)		ビューティ総合学科2年 (メイク・ネイル専攻)	2022/後期	講義・実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	選択	北野 美菜
授業の概要				
ジェル検定試験における基礎知識(接客・カウンセリングが必要なサロンワークと接客のいない試験の違いを理解することによりネイリストとしての)基盤を習得・確立する				
授業終了時到達目標				
試験合格を目指し目標を持つことでより基礎が明確になり理解できる サロンワークにおいてお客様に提供する技術向上の基礎となり活かされる 接客・カウンセリングの重要性を理解しサロン実践において提供する幅が広がる事を実感できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ネイリストとして4年間ネイルサロンの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~4	ジェルネイル基礎技術①	ジェルネイル衛生管理・技術管理のためのセッティング・ケア手順の修得		
5~8	ジェルネイル基礎技術②	カラーリング・ピーコックアートの工程を実践しながら精度を上げる		
9~12	ジェルネイル基礎技術③	爪の構造・爪の病気の理解修得、ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ピーコックアートの修得		
13~16	ジェルネイル基礎技術④	ケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・アートの一覧の流れを時間内に実践するための技術修得		
17~32	ジェルネイル検定試験対策①~④	時間を計り、準備から手順・仕上がりをチェックし検定試験に向けての対策		
33~36	ジェルスカルプチュア基礎理論	フォーム装着・ジェルネイルでのスカルプチュア技術の修得(アクリルとの違いを理解する)		
37~40	アクリルスカルプチュア基礎理論	フォーム装着・アクリルネイルでのスカルプチュア技術の修得(ジェルとの違いを理解する)		
41~44	デザインワーク①	テーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う		
45~48	デザインワーク②	テーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う		
49~52	卒業アート製作①	テーマに沿ったデザインをチップに製作しデザイン構築と表現力を養う		
53~56	卒業アート製作②	各自テーマに沿ったデザインをチップに製作しデザイン構築と表現力を養う		

57～ 60	総合まとめ	これまでの総合的な復習と自分の強化点の総理解		
	教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
	NPO法人日本ネイリスト協会（JNA）発行 テクニカルシステム	検定試験 卒業アートチップ 期末試験	20.0% 20.0% 60.0%	各講義で実施した 内容を教材などを 使用して練習・復 習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロンワーク実務Ⅱ		ビューティー総合学科/2年	2022/前期	現場研修
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	75回	150単位時間	必須	上濱 しおり
授業の概要				
実店舗サロン研修「AER」にて、接客・施術（ネイル・エステ・化粧品販売）を行い、接客力・技術応用力・販売力を持ち備えたエステティシャン・コスメティシャン・ネイリストを目指し実践力を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・サロン接客が出来る ・個々に合わせた施術提案と施術が出来る ・集客が出来る ・化粧品販売が出来る ・ホームケアアドバイスが出来る ・チームで成果を出すことが出来る 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	エステティシャンとして、3年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。			
時間外に必要な学修				
技術・トーク強化は必須となる為、予習・復習につとめること。				
回	テーマ	学修内容		
1～8	接客と技術の強化レベル1	各施術メニューの達成度を図り改善点を克服する		
9～12	接客と技術の強化レベル2	カウンセリングシートを基にビフォー・アフターカウンセリングの強化を行う		
13～16		カウンセリングを強化し、提案カスキルを上達させる		
17～24	接客と技術の強化レベル3	施術中の会話の楽しみ方を修得する (会話の広げ方)		
25～28		情報収集を基に来店リピートに繋げる提案力を上達させる		
29～36	化粧品販売の開始	化粧品の特性を理解し、お客様の肌トラブルに合わせて、基礎化粧品のご提案を行い化粧品販売に繋げる		
37～44	新メニュー販売の開始	お客様の情報収集を基に、新メニューのご提案と説明が出来る		
45～56	お客様向け対応強化	会員様向けサービスのご提案と、ご紹介トークの修得		
57～64	顧客満足度調査	外部評価を受け改善点を実務で実践し情報の共有と意識の確認を行う		
65～75	接客と技術の強化レベル4	お出迎え・受付・カウンセリング・ご案内・施術・アフターカウンセリング・次のご提案・お会計・お見送りまで一連の流れを滞りなく接客できるレベルになる		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ビューティー総合演習Ⅱで実施したサロン目標・振り返り内容等 ・化粧品の販促品等 		研修評価表 目標達成度	50.0% 50.0%	不足部分はロープレや相モデルを通し自主的に改善に努める

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロンワーク実務Ⅱ		ビューティー総合学科/2年	2022/後期	現場研修
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90時間	必須	上濱 しおり
授業の概要				
実店舗サロン研修「AER」にて、接客・施術（ネイル・エステ・化粧品販売）を行い、接客力・技術応用力・販売力を持ち備えたエステティシャン・コスメティシャン・ネイリストを目指し実践力を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・サロン接客が出来る ・個々に合わせた施術提案と施術が出来る ・集客が出来る ・化粧品販売が出来る ・ホームケアアドバイスが出来る ・チームで成果を出す事が出来る 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	エステティシャンとして、3年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。			
時間外に必要な学修				
予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1～4	接客と技術の強化レベル5	お出迎え・受付・カウンセリング・ご案内・施術・アフターカウンセリング・次のご提案・お会計・お見送りまで一連の流れを滞りなく接客できるレベルになる		
5～8				
9～12	接客と技術の強化レベル6	お出迎え・受付・カウンセリング・ご案内・施術・アフターカウンセリング・次のご提案・お会計・お見送りまで一連の流れを滞りなく接客できるレベルになる		
13～16				
17～20	接客と技術の強化レベル7	一連の流れにご提案やご紹介、会員制度のご紹介等、その方に必要なご提案が出来るようになる		
21～24				
25～28	1年生のアシスタント育成	お客様目線を主とした行動・発言が出来るように指導する		
29～32		スタッフとしての心構えを伝え、働くことのモチベーションを一緒に育み主体性に繋げる		
33～36	1年生のアシスタント	1年生が接客に専念できるようにアシスタント業務を行いながら不足部分を指導し育てる		
37～44				
45	サロン実務の振り返りと発表	個々とチームの振り返りをし次年度のサロン実務に引き継ぐ		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
<ul style="list-style-type: none"> ・ビューティー総合演習Ⅱで実施したサロン目標・振り返り内容等 ・化粧品の販促品等 		研修評価表 目標達成度	50.0% 50.0%	不足部分はロープレや相モデルを通し自主的に改善に努める

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロンマネジメント		ビューティー総合学科 2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	高崎 千愛
授業の概要				
サロンワーク実務Ⅱに必要な、毎月の計画立て、手段、目標設定を行い、必要なトークのロールプレイングや準備を行う				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・商品説明、ご提案が出来る ・先の計画立て達成するための手段を考え目標達成する癖付けが出来る ・サロンリーダーはチームをまとめ率いることが出来る ・集客意識、売上意識が出来るようになる ・常に改善意識をもてるようになる 				
実務経験内容				
有	エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。			
時間外に必要な学修				
サロンワーク実務（実践授業）で実践し成果を得る、又は改善に繋げる。				
回	テーマ	学修内容		
1	商品販売のノウハウ①	お客様が購買するまでのプロセスを理解し、実際の商品をご提案出来るトークを組み立てられる		
2	商品販売のノウハウ②	販売トークのロールプレイングを通してお客様心理を理解し販売に繋げる		
3	全体サロンミーティング4月	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う		
4	季節限定メニューの立案①	学生サロンAERで季節で需要がありそうなメニューを立案しプレゼンが出来る準備を行う		
5	季節限定メニューの立案②	季節限定メニューのプレゼンを実施し、実際に採用するメニューを投票によって決める		
6	全体サロンミーティング5月	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う		
7	季節限定メニューの打ち出し	お客様の興味を引くポップ作り（チーム毎）		
8	商品の打ち出し	お客様の興味を引くポップ作り（チーム毎）		
9	全体サロンミーティング6月	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う		
10	お客様ご紹介をいただくために	ご紹介をいただくために必要な要素を理解し、トークを起こしロールプレイングが出来る		
11	全体サロンミーティング7月	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う		
12	よりよいサロン作り③	様々なルール、やり方、システムの見直しを行い、より働きやすいサロン作りとサービス向上に繋げる		
13	サロン実務の成果	半期の実績と分析を行い、残り半期の計画立てを行う 更によくするためには何が必要かを考えられる		
14	全体サロンミーティング9月	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う		

15	後輩育成プログラム	1年生へサロンを引き継ぐための計画を立てる 実践出来るプログラムの作成が出来る		
	教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
	サロン実務での売上実績を参考	各発表の評価 目標達成率	30.0% 70.0%	サロンワーク実務 II

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリア・ デベロップメントⅡ		ビューティー総合学科 2年	2022/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	高崎 千愛
授業の概要				
社会人として必要とされるビジネスマナー、仕事への考え方、働く意義を学習することで、就職活動を円滑にし内定獲得を目指す				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・自己PR, 志望動機が書け、相手に伝わるように話せるようになる ・グループディスカッション、集団面接、個人面接対応が出来る ・商品プレゼンが出来る ・一般常識、ビジネスマナーが身に付き働くことに前向きになる ・業界の現状を知り、今後の展望・課題を検討する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
授業内で完成しなかった課題は完成させ提出する 個別で面接練習は行うこと				
回	テーマ	学修内容		
1	就職活動の振り返りと今後の計画	改善に向けての行動計画が出来準備する。今後の就活計画書の作成、内定者の事例報告で情報をシェアする		
2	グループディスカッション	テーマを設けディスカッションを行い、表現力、協調性、コミュニケーション能力を発揮することが出来る		
3	プレゼンテーションとは①	相手に伝わることは何かを理解し、構成のポイントを捉え組み立てることが出来る		
4	プレゼンテーションとは②	実際のプレゼンテーションを通して両者からの気づきを基に効果的なプレゼンテーションが出来る		
5	1分間スピーチ	スピーチ力に必要なことを知り簡潔に相手に伝える方法を理解し話を組み立て話すことが出来る		
6	メールやり取り方法 電話でのやり取り法	メールのルール・電話やり取りルールを把握し、企業との連絡を想定し実践出来る		
7	ビジネスフォーマルと髪型	ビジネス（業界）の場にふさわしいスーツ以外の着こなしとヘアスタイルのルールを把握し実践出来る		
8	生活設計を立てる①	シミレーションを通して貯蓄、一人暮らし等の生活設計を立てることが出来る		
9	生活設計を立てる②	税金、保険、年金を学ぶ		
10	モノの言い方	相手を動かす上手なモノの言い方を理解し実践会話を行い身に付けることが出来る		
11	ビジネスマナー① 新入社員に求められること	素直・元気・勉強熱心・協調性・成果を出すことへの目的を理解しそれぞれの取組方を考えることが出来る		
12	ビジネスマナー② 仕事の優先順位	何を優先すべきかの判断基準を理解し、仕事の進め方を想像出来るようになる		
13	ビジネスマナー③ 冠婚葬祭でのルール	お祝い金・のし袋の書き方包み方・訪問の仕方・他ルールについて理解することが出来る		
14	ビジネスマナー④ 遅刻・欠席・退職のルール	急な欠病・遅刻の際の対処法・一般常識としての退職のルールを理解することが出来る		

15	ビジネスマナー⑤ お付き合い&食事のマナー	接待・パーティー・各種食事のマナーの理解		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
受かる！面接力養成シート（日本実業出版社） モノの言い方1年生のキミへ（すばる舎） 女性のビジネスマナーパーフェクトブック（ナツメ社）		提出物・発表内容 期末試験	30.0% 70.0%	授業内で完成しなかった課題は完成させ提出する 個別で面接練習を行うこと